かめのり賞活動報告

1. かめのり賞受賞回

第 19 回かめのりさきがけ賞

2. 団体名・個人名

福田 浩之

3. 活動目的

誰もがもてる力を発揮し、未来を切り拓くことができる社会を目指している。フィリピンでは路上で生活する若者たちが運営する「カリエ」という団体を結成し、若者自身が教育活動や政策提言を担う仕組みを築いてきた。現在は岐阜県美濃加茂市・可児市で、外国ルーツの若者の居場所づくりや生活相談、地域の担い手育成に取り組む。人々を一方的な支援の対象ではなく、社会課題をともに解決する主体として捉えることを大切にしている。

4. 活動報告

①活動奨励金の活用方法

活動奨励金は、実践成果を発信し、新たな知見を得るための学会参加に伴う交通費・宿泊費、2026 年 9 月のフィリピン・ミンダナオ国際大学への渡航費、自己研鑽のための書籍購入費や研修受講費に活用した。学会での研究者・実践者との交流や、フィリピンの教育機関との協議を通じて、これまで日本とフィリピンで培ってきた実践を検証し、次の協働事業へつなぐ機会を得た。

②かめのり賞受賞後の事業活動の内容・功績

受賞後は、外国ルーツの若者が自らの関心や経験を出発点に、地域社会と関わる活動の創出に力を入れてきた。若者たちとともに多文化交流イベント「リトルワールド可児」を企画・運営し、様々な国の遊びや食文化を地域住民に紹介した。当日は約 120 名が参加し、国籍や世代を超えて交流する盛況なイベントとなった。若者が単なる参加者ではなく、企画から運営までを担い、自らの文化や経験を地域の資源として活かす機会となった。

また、外国ルーツの若者の居場所「チルカフェ」では、安心して過ごせる場づくりから、若者自身の関心を起点とした活動へと展開している。歌、ダンス、写真、アートなどのグループが生まれ、若者たちは日本で暮らす中で感じていることや、自分自身の経験、アイデンティティをそれぞれの方法で表現する活動を始めた。こうした表現活動は、自分の気持ちや経験を客体化し、仲間と共有するとともに、日本社会に向けて発信する機会にもなっている。居場所で育まれた関係性が、若者の主体的な活動や社会参加へとつながり始め

ている。
こうした実践を研究・発信につなぐ取り組みも進めている。日本 NPO 学会、日本地域福祉学会、第 1 回パウロ・フレイレ研究実践フォーラムで研究や実践を発表した。さらに、開発教育協会の機関誌『開発教育』（2026 年 12 月刊行予定）に活動に関する論文を寄稿した。

実践現場で把握した課題を政策につなぐことにも力を入れた。「多文化共生の担い手・実践者全国会議 2026」では分科会 4 のコーディネーターを務め、現場の実践者による議論を整理し、政府各省庁の関係者に向けて提案を発表した。個別の支援だけでは解決が難しい課題を、制度や政策の改善につなげる機会となった。

さらに、多文化共生や国際協力に取り組む 2 団体への伴走支援に携わったほか、科研費研究「日本におけるコミュニティ・オーガナイジングの実装と理論」の実践チームに参画している。フィリピンと日本で培ってきた当事者主体の地域づくりの考え方や手法を体系化し、実践者向けの研修プログラムの開発を進めている。また、所属するアイキャンの外国ルーツの若者の居場所づくりと地域参加の実践は、大阪 NPO センター主催の「CSO フォーラム 2026」のファイナリストに選出された。

2026 年 9 月にはフィリピン・ダバオ市のミンダナオ国際大学を訪問し、今後の連携について合意した。美濃加茂市・可児市には日系フィリピン人が多く暮らし、日本とフィリピンを行き来しながら進学や就労の選択をする若者もいる。こうした国境を越えた生活の実態を踏まえ、日本国内の多文化共生とフィリピンでの国際協力を結びつける新たな事業の基盤づくりを進めている。

③現在（または今後）計画している事業
2027 年度には、美濃加茂市・可児市の教育機関、病院、高齢者施設、行政、日本語教室などの関係者とともにミンダナオ国際大学を訪問し、具体的な連携事業を検討する予定である。若者の相互交流だけでなく、日比両国の教育・福祉・就労に関わる人々が互いの制度や現場を学び、進学やキャリア形成を支える協働の仕組みを目指す。国境を越える経験を若者自身の強みとして活かし、両国の地域に貢献できる人材育成へと発展させたい。

同時に、フィリピンの協同組合カリエと日本のチルカフェに共通する「当事者自身が課題解決の担い手になる」過程を研究と実践の両面から整理し、自治体や市民団体が活用できる研修へと発展させていく。支援の対象と見なされがちな人々の経験や強みを地域の資源として捉え、国内外でともに学び、行動する仲間を増やすことが今後の目標である。

5. 写真



若者の居場所「チルカフェ」における多文化交流イベント「リトルワールド可児」



外国ルーツの若者が自身の経験や思いを仲間とともに共有し合うワークショップ



多文化共生の担い手・実践者全国会議 2026 での分科会の担当と各省庁の関係者に向けて政策提言



フィリピンのミンダナオ国際大学との連携会議の実施